



滋賀銀行は、環境省認定の「エコ・ファースト企業」として、「環境経営」に取り組めます。

SHIGA BANK

CSRレポート2009

あした

未来をみつめて。

クリーンバンクしがぎんは、
持続可能な社会の実現に向けて歩みを進めています。



TOP MESSAGE



「環境価値創造」

「100年に一度の金融危機」と、「100年に1℃近くも上がった地球温暖化」の2つの危機に私たちは直面しています。各地で猛威をふるった今年の梅雨の豪雨は、地球から私たちへの鋭い問いかけである「地球の涙」とさえ思わせませす。

また、「地球環境の縮図」である琵琶湖の姿が大きく変化しています。水質の悪化や水草の異常繁茂、湖水の大循環による「琵琶湖の深呼吸」が遅れるなど、さまざまな現象は、世界の環境問題を象徴していると言えます。

このまま地球温暖化が進むと、地球の「体温」のティッピング・ポイント（臨界点）である「平均気温+2℃」を超えるのは2032年と予想されています。刻々と迫る危機的状況を前に、低炭素社会の実現は地球を「将来世代」に引き継ぐための、まさに現在の私たちに課せられた責務であります。

当行には「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」という「行是」があります。そして、この「行是」をCSR（企業の社会的責任）経営の原点とし、「地域社会」、「役職員」、「地球環境」との「共存共栄」を多面的に追求しています。

具体的には、本業である「金融」の役割を通じて、さまざまな環境対応型金融商品・サービスの提供に努めております。また、環境配慮型のニュービジネスを育成することが地域に根ざす金融機関の使命と考えて取り組んでおります。「エコビジネスフォーラム・サタデー起業塾」は今年ではや10年目を迎えます。加えて、環境ビジネス展開に積極的な地元の中堅・中小企業のお客さまに、エコビジネス・パートナー探しの“場”を提供する「エコビジネスマッチングフェア」も昨年より開催し、今年は120社のご出展、2,600名のご来場をいただきました。

今後は展望しますと、気候変動、排出量取引、企業と生物多様性、ISO26000（SR規格）などが新しいテーマとして、現代の企業に、その取り組みを迫っています。持続的発展をめざす企業には、従来は無かった斬新な考えと活動、いわば“環境価値創造”が求められています。

環境分野は、中小企業ならではの新しい発想と技術が最も活かされる分野です。琵琶湖を有する滋賀県にエコ・ビジネスの「芽」が次々と生まれ、育っているのは頼もしい限りです。

このような状況下で、当行は「お金の流れで地球環境を守る」のは金融機関の社会的使命であることを再認識して、経営に環境を取り込んだ「環境経営」を一層充実し、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、地域社会、そして地球環境との「共存共栄」に努めてまいります。

平成21年9月

取締役頭取

大道良夫



しがぎんのデータ (平成21年 3月31日現在)

名 称	株式会社 滋賀銀行 THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地	滋賀県大津市浜町1番38号
設 立	昭和8年10月1日
総 資 産	4兆1,077億円
預 金 残 高	3兆7,710億円 (譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	2兆7,183億円
資 本 金	330億円
従 業 員	2,289人
店 舗 数	135カ店 (うち代理店8カ店)

編集方針

「CSRレポート2009」は、滋賀銀行が「クリーンバンクしがぎん」として果たすべきCSR(企業の社会的責任)に関する方針や活動を報告するものです。

地方銀行で初めて制定(平成19年4月)した「CSR憲章(経営理念)」の3つの約束、すなわち、①地域社会との共存共栄 ②従業員との共存共栄 ③地球環境との共存共栄の各テーマを軸に、わかりやすい言葉と写真の多用により、当行の方針や活動内容をご理解いただけるよう心がけました。

一人でも多くの方に本レポートを手にとりいただき、滋賀銀行の取り組みについて知っていただければ幸いです。

報告対象範囲

滋賀銀行の活動を対象としていますが、一部グループ会社の活動も掲載しています。

対象期間

平成20年度(平成20年4月1日から平成21年3月31日)を主な報告対象とし、一部には、平成20年度以前の活動や、平成21年8月までの最新情報を含んでいます。

次回の報告書発行予定:平成22年9月

CONTENTS

「CSRのしがぎん」をめざして

- 2 CSR活動ダイジェスト
- 4 しがぎんのめざす“CSR”とはどのようなものですか?
- 5 「エコ・ファーストの約束」進捗状況

地球環境との共存共栄

- 6 環境マネジメントシステムにはどのような特徴がありますか?
- 7 地球温暖化防止に向けてどのような取り組みをしていますか?
- 8 「エコオフィスづくり」とはどのような取り組みですか?
- 10 お金の流れで地球環境を守る
~当行独自の環境対応型金融商品・サービス~
- 12 環境対応型金融商品にはどのようなものがありますか?
- 18 どのような環境コミュニケーションを展開していますか?
- 20 環境ボランティアにはどのようなものがありますか?
- 21 環境会計

地域社会との共存共栄

- 22 社会貢献活動にはどのようなものがありますか?
- 23 文化の取り組みにはどのようなものがありますか?
- 24 お客さまの安心・満足のための取り組みにはどのようなものがありますか?

役職員との共存共栄

- 26 役職員との共存共栄に向けてどのような職場づくりを進めていますか?
- 28 女性にとって働きやすい職場環境づくりに取り組んでいますか?

コンプライアンスへの取り組み

- 30 コンプライアンス強化に向けてどのような取り組みをしていますか?

32 CSRトピックス

33 第三者意見



平成20年

CSR活動ダイ

(平成20年4月～平成



BCAOアワード2007

4月

- 「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」取扱開始 (P13)
- 「BCAOアワード2007」大賞を受賞
- 「第24回しがきん福祉基金贈呈式」開催
- 「パートタイマーから嘱託」、「嘱託から行員」への採用を開始 (P26)



サタデー起業塾

7月

- 「エコ・ファースト企業」に認定 (P5)
- 「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」取扱開始 (P13)
- 日本列島クリーン大作戦に参加
- 「エコビジネスマッチングフェア」開催
- 平成19年度「関西エコオフィス大賞」受賞 (P9)

8月

- インターンシップ生の受け入れ

9月

- BCP訓練を実施

5月

- 次世代育成支援対策推進法に基づく認定 (P27)



6月

- 「BCP策定コンサルティング」の開始
- 「エコビジネスフォーラム2008『サタデー起業塾』」開講
- ニゴロブナ放流事業へ120万円を寄贈
- 小学校5校に「学校ピオトープ」づくりの資金250万円を寄贈



2月

- 「温室効果ガス削減支援業務」取扱開始 (P15)

3月

- 「第12回環境コミュニケーション大賞」奨励賞受賞
- 全国銀行協会主催「環境金融シンポジウム」に登壇 (P18)
- ニゴロブナ放流式を開催 (P16)



第12回環境コミュニケーション大賞



1月

- ISO14001更新審査の受審
- 近畿財務局より「環境金融の取り組み」の顕彰を受ける (P7)
- 「チャリティーカレンダー展」に参加
- リフォームローン「環境サポートキャンペーン」開始 (P17)
- 「GPN500万人グリーン購入一斉行動キャンペーン」に参加



ニゴロブナ放流式

平成21年



ジェスト

21年7月)



森づくりサポート活動

11月

- 「ヨシ紙名刺」を導入 (P20)
- 「びわ湖環境ビジネスメッセ2008」に出展 (P19)
- 森づくりサポート活動
シラカシの移植と3,000本の植樹を実施 (P20)
- 「子ども虐待防止・オレンジリボンキャンペーン」に参加 (P32)
- 「びわ湖検定」の受験



ヨシ刈り



シラカシ移植セレモニー

10月

- 森づくりサポート活動実施 (P20)
- 「半日年次有給休暇制度」、「配偶者出産特別休暇制度」開始 (P29)
- 「GPN500万人グリーン購入一斉行動キャンペーン」に参加



「エコ・ファーストの約束」式



地球温暖化防止活動環境大臣表彰

12月

- 女性活躍推進委員会主催「キャリア☆デザイン講座」開催 (P28)
- 高島市でヨシ刈りを実施 (P20)
- 「上海ビジネス商談会2008」に出展 (P19)
- 「みるエコおうみ」に参加
- 平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」受賞 (P10)
- 「浜町研修センター」竣工、「CASBEE」Sランクを取得 (P8)
- 「試行排出量取引スキーム」に参加 (P7)



6月

- 「エコビジネスマッチングフェア」開催 (P18)
- 小学校3校に「学校ビオトープ」づくりの資金104万円を寄贈 (P12)
- 「育休mamaセミナー」開催 (P29)



第25回しがぎん福祉基金贈呈式



エコビジネスマッチングフェア



育休mamaセミナー

4月

- KEIBUN創立25周年記念事業
「びわ湖 音楽の春“GIFT”2009」開催 (P23)
- 「第25回しがぎん福祉基金贈呈式」開催 (P22)

5月

- 「国内クレジット制度」共同実施者の申請承認 (P15)



7月

- 日本列島クリーン大作戦に参加 (P20)
- 「エコビジネスフォーラム2009
『サタデー起業塾』」開講 (P18)

日本列島クリーン大作戦

Q. しがぎんのめざす“CSR”とは どのようなものですか？



CSR憲章に込めた 地域社会・役職員・地球環境との 共存共栄の実現です！

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

CSR憲章（経営理念）

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし（売り手よし、買い手よし、世間よし）」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR（企業の社会的責任）の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

地域社会との共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役職員との共存共栄

役職員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行は、環境を主軸とするCSR（企業の社会的責任）の追求を「銀行経営の要諦」と位置づけ、「**クリーンバンクしがぎん**」を合言葉に、経営に環境を取り込んだ「**環境経営**」を展開しています。

当行が果たすべき社会的責任を一層明確にするため、行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」（昭和41年制定）の精神を原点とし、「地域社会」「役職員」「地球環境」との共存共栄を追求する「**CSR憲章**」を平成19年4月、地方銀行で初めて制定。加えて、憲章に込められた精神を体現するための具体的指針「**滋賀銀行の行動規範**」（P31参照）を策定しました。

今後とも、当行のCSR活動を一層充実、強化するため、頭取を委員長とする「**CSR委員会**」を中心に、CSR憲章に込めた「共存共栄」の実現に向け、全役職員が一丸となって「**CSRのしがぎん**」の確立に努めてまいります。

用語説明

CSR

Corporate Social Responsibility（企業の社会的責任）
企業活動の社会的、経済的、環境的側面においてバランスのとれた責任を果たすべき、とする経営の理念。

「エコ・ファーストの約束」 進捗状況



大津市
びわ湖バレイ(水仙)

当行は環境省が創設した「エコ・ファースト制度」において、
全国で第7号、かつ金融業界初のエコ・ファースト企業として
平成20年7月に認定を受けました。

平成20年度の「エコ・ファーストの約束」項目については、
順調に推移しています。



「エコ・ファーストの約束」を交わした鴨下一郎環境大臣(当時)と大道頭取(右)

「CSRのしがぎん」をめざして

用語説明

エコ・ファースト制度
環境省が業界のトップランナー企業の環境保全に関する行動を更に促進していくため、企業が環境大臣に対し、京都議定書の目標達成に向けた地球温暖化対策など、自らの環境保全に関する取り組みを約束する制度として、平成20年4月に設けられたもの。

「エコ・ファーストの約束」進捗状況(2008年度)

1. “お金の流れで地球環境を守る”との気概で、環境対応型金融商品を積極的に推進します。

- ◆本年4月から取り扱いした「カーボンオフセット定期預金 未来の種」により、定期預金額の0.1% (6百万円相当) の排出権を購入し、京都議定書の約束期間である5年間、国へ無償譲渡します。
- ◆「カーボンオフセット定期預金 未来の種」で、皆さんからの地球温暖化防止への願いが込められたご預金を、温室効果ガス削減への取組に融資する「事業者向け環境配慮型融資「未来の芽」」を洞爺湖サミット開催にあわせ取り扱いいたします。
- ◆紙資源を節約し、「学校ビオトープづくり」に貢献する「エコプラス定期」を2010年3月末までに550,000件推進します。
- ◆お客さまの環境保全をお手伝いする環境対応型融資商品の「エコ&耐震住宅ローン」^①、「エコ・クリーン資金」^②、「琵琶湖原則支援資金」^③、「カーボンニュートラルローン 未来よし」^④を積極的に推進し、持続可能な社会の実現に努めます。
- ◆琵琶湖をはじめとする地球環境保全への願いを込めた、「しがぎん琵琶湖原則」への賛同を広く呼びかけてまいります。

2. 地球温暖化の防止に向けた取組を積極的に推進します。

- ◆「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」に努め、温室効果ガス(CO₂)排出量を、当行全体で2010年3月までに2006年度比で15%削減します。
- ◆環境成長経済で滋賀県の雇用創出と事業革新を牽引する、「滋賀エコ・エコノミープロジェクト」を実践し、2030年までにCO₂排出を50%削減する低炭素社会の実現に貢献します。
- ◆「エコビジネスフォーラム」、「エコビジネスマッチングフェア」を開催し、「環境力」と「金融力」の融合を目指し、環境ビジネスを積極的に支援します。
- ◆設備並びに事務機器の省エネを推進するとともに、店舗は3R品や、省エネルギー機器、太陽光発電設備の導入など環境に配慮した仕様にします。

3. 循環型社会の形成に向けた取組を積極的に推進します。

- ◆行内の「リサイクルシステム」を活用し、紙・ゴミを年間500tリサイクルいたします。
- ◆環境にやさしい「エコメール」を導入し、紙資源・ビニール袋等の廃棄物削減に努めます。

平成20年7月に取り扱いを開始(P13)
※ご好評いただき、取り扱いは終了しています。

①162件 ②19件
③158件 ④108件

CO₂排出量21.55%削減

「しがぎん浜町研修センター」、「南草津パーソナル出張所」とともに環境に配慮した仕様になりました。(P8・9)



平成20年度 2,000t
平成21年度 2,000t
2年間で、合計4,000tの
排出権を国に譲渡して
います。

310,944件(P12)

ご賛同企業は累計で
4,528先(P14)

「しが炭素基金」に資金を拠出し、低炭素社会の実現に寄与しています。(P19)

サタデー起業塾(P18)
産学官・金の連携で「エコビジネス」にチャレンジ



エコビジネスマッチングフェア(P18)
来場者数 2,600名
商談件数 818件



リサイクル(P8)
501tの紙ゴミをリサイクル



エコメール(P8)
取り扱い数 61,695通
紙資源等削減量 956kg



Q. 環境マネジメントシステムにはどのような特徴がありますか？



近江八幡市
水郷めぐり(和船)

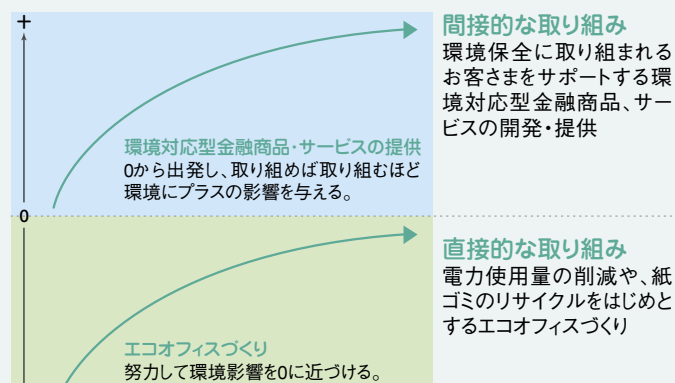
ISO14001 ～認証取得から10年～

「ISO14001」を認証取得し、10年目を迎えました。当行の「環境マネジメントシステム」は、省エネ・省資源の「エコオフィスづくり」に加え、銀行の本業を通じた「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」を目標に組み込み、平成12年3月に取得。継続的改善に取り組んでいます。

『しがぎん』の環境方針 ～クリーンバンクしがぎんをめざして～

- 1 滋賀銀行は、地球環境の保全ならびに環境への負荷低減を企業活動の基本と認識し、環境マネジメントシステムの継続的改善および環境汚染の予防に努め、「環境との共生」をめざします。
- 2 関連する環境の法規制、および滋賀銀行が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 3 エコオフィスづくりの中で、省資源および省エネルギーを推進します。
- 4 環境対応型金融商品の開発・推進ならびに情報提供を通して、琵琶湖をはじめとした自然環境保全への取り組みを、地域とともに進めます。
- 5 この環境方針を基に全従業員が環境について考え行動します。

環境影響



平成20年度 環境活動の目標と実績

☺=達成 ☺=おおむね達成 ☹=未達成

	平成20年度 環境目的・目標	実績	評価	備考
地球温暖化防止	温室効果ガス排出量を平成18年度比6%削減(3力年計画)	23.29%	☹	CO ₂ 換算 2,047.3t削減
省資源 (本部・本店)	紙使用量の削減(A4換算枚数)、平成19年度比1.85%削減	0.44%増加	☹	諸制度改正により紙使用量増加
	帳簿用紙の削減(電子化)、帳簿用紙70種類を電子化	69種類	☺	累計で431種類を電子化
	連続用紙の使用量削減、平成19年度比0.5%削減	6.70%	☺	
省エネルギー (本部・本店)	事務室電力使用量の削減、平成19年度比0.5%	2.70%	☺	平成19年度比 87kWh削減
	ガス使用量の削減、ガス使用量を28,900m ³ 以下	27,477m ³	☹	平成19年度比 5.51%削減
	水道使用量の削減、水道使用量を24,900m ³ 以下	24,486m ³	☺	平成19年度比 1.09%削減
	公用車の環境対応車への切替、33台を環境対応車に切替	66台	☺	公用車375台中、環境対応車は291台で採用率は77.60%

※各部・関連会社においても、個別・単独の目標を設定し、取り組んでいます。

しがぎん VOICE ISO実施責任者の声



システム部 田中 稔

私の所属するシステム部では、ISOの独自の取組項目である連続用紙(大型コンピュータで利用する専用用紙)の使用量削減を各種資料の電子化等の推進により進めています。関係する部署と連携しながら独自の取組項目を進めることにより、当行全体の「直接的な取り組み」である紙資源の削減を図り、よりよい「エコオフィスづくり」になるよう努めています。

心身ともにクリーンバンクしがぎん

平成11年から「クリーンバンクしがぎん」を合言葉に、役職員一人ひとりの環境意識を高めるとともに、透明度の高い情報開示にも努め、「心身ともにクリーンバンクしがぎん」の実現をめざしています。



「クリーン」に込めた4つの思い

- ① 省資源・省エネルギーの「エコオフィスづくり」
- ② 「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」による地域への環境保全活動の働きかけ
- ③ 倫理観の強い行員づくり
- ④ 透明度の高い情報開示

環境法規制の遵守

平成20年度においても、環境に関する法令違反、ならびに環境に関する事故はございませんでした。

Q. 地球温暖化防止に向けて どのような取り組みをしていますか？



大津市
びわ湖開き

地球環境との共存共栄



温室効果ガス排出量23.29%削減

当行は、新世紀第3次長期経営計画※（平成19年4月～平成22年3月）において、「**地域社会との「共存共栄」の貫徹**」をめざすため、3つのブランド戦略（「知恵と親切のしがぎん」「アジアに強いしがぎん」「CSRのしがぎん」）を柱とした営業戦略を展開しております。

とくに「CSRの実践」では、「**温室効果ガス（CO₂）排出量6%削減（平成18年度比）**」を掲げ、平成21年3月末までに、**CO₂排出量を23.29%削減**することができました。

※新世紀第3次長期経営計画の詳細については、ホームページをご覧ください。
http://www.shigagin.com/pdf/investor_bank_2009_08-11_chouki.pdf

温室効果ガス（CO₂）排出量削減結果（平成19年4月～平成21年3月）

項目	取り組み内容	削減計画	CO ₂ 削減量合計	累計実績
省エネ活動	電力、都市・LPガス、上下水道、ガソリン、重油使用量の削減	263.7t	105.0t 増加	電力—— 1,022千kWh増加 都市・LPガス—— 6,793m ³ 削減 上下水道—— 7,457m ³ 削減 ガソリン—— 10.4kℓ増加 重油—— 33.2kℓ削減
本業を通じたCO ₂ の削減	①「ジャストサポート（エコ）」 「PLB」「エコ・クリーン資金」（環境対応車の購入）の実行 ②「エコ&耐震住宅ローン」 「セレクトリフォームローン（エコ&耐震）」 （太陽光発電システムの導入）の実行 ③「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」による排出権の購入	244.2t	2,082.6t	①364件 ②26件 ③4,000t
植樹活動	役職員ボランティアによる植樹	16.8t	56.0t	5,000本
自社車輛の環境対応車への切替	環境対応車への切替	29.8t	13.7t	99台
		554.5t	2,047.3t	

※省エネ活動のエネルギー使用量については、平成19年度と平成20年度の平均値を計上しています。
※CO₂排出量は新事務棟・しがぎん浜町研修センターの稼働により1.19%増加しましたが、排出権を2,000t購入し、カーボンオフセットすることにより23.29%削減いたしました。
※平成18年度（基準年）のCO₂排出量は8,791.9tです。

「試行排出量取引スキーム」に参加

政府が主導する温室効果ガスの「**試行排出量取引スキーム**」に参加しています。同制度への参加により排出量取引のノウハウを蓄積し、今後の「**地元中小企業向けの環境対策支援サービス**」に活かしていきます。

TOPICS

「環境金融」に高い評価 ～地域密着型金融の取り組み～

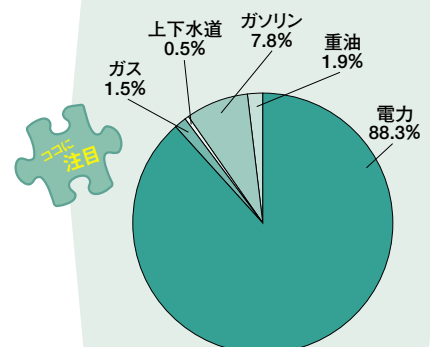
平成21年1月、当行の「環境金融」の取り組みが、平成19年度の地域密着型金融の優れた取り組みとして、近畿財務局より顕彰されました。

当日は、「環境金融」の取り組みについて事例発表を行うとともに、地域密着型金融の取り組みについて顕彰を受けた各団体とともに、当行の中川常務が意見交換会に参加しました。



顕彰を受ける中川常務（右）

当行のCO₂排出量の約9割が電力の使用によるものです。



平成20年度 CO₂排出量比率

Q.「エコオフィスづくり」とはどのような取り組みですか？



地球環境に配慮 「エコメール」

開封テープと宛名ラベルのみの簡易包装で発送する「エコメール」を平成19年8月より導入しています。

平成20年度は61,695通をエコメールで発送し、不要となる封筒やビニール袋などの廃棄物956kgを削減することができました。

開封テープと宛名ラベルは簡単にはがすことができます。



環境対応車導入率 77.6%

当行が使用する公用車を、ハイブリッドなどの環境対応車に順次切り替えています。

また、バイクについても、環境に配慮した電動バイクを導入しています。



行内のリサイクルシステムで、紙ゴミを再生

行内に「リサイクルシステム」を設置し、顧客情報などに関する機密書類を全店から集めて破砕処理し、再生紙工場に持ち込んで、ノートやファイル、トイレットペーパーなどに再生しています。

平成20年度は501tの紙ゴミを破砕室へ持ち込み、リサイクル率は99%になります。

ノベルティグッズもグリーン購入

当行の定める「グリーン購入基本方針」のもと、環境負荷ができるだけ少ない商品やサービスを優先的に購入する「グリーン購入」の実践に取り組んでいます。

お客さま自身が「グリーンコンシューマー」となってもらえるよう、お客さまにお贈りするノベルティグッズ(頒布品)もグリーン購入です。

行内のリサイクルシステムの活用により、機密情報の漏洩も防止できます。



破砕処理



再生



「環境」と「人材育成」のシンボルタワー 「しがぎん浜町研修センター」

NEW!

平成20年12月に竣工した、しがぎん浜町研修センターは、「人(研修)」「環境」「健康」をコンセプトに、「人材育成」と「環境を主軸としたCSRのしがぎん」のシンボルタワーとして位置づけています。

特に環境面では、高品質な室内環境と省エネルギー、総合的な環境効率を高めるために、太陽光発電や自然採光、屋上緑化をはじめ、当行の環境ビジネス支援を通して実を結んだお取引先さまの最先端環境技術・製品を多数導入。財団法人建築環境・省エネルギー機構の認証する「CASBEE※」で最高の「Sランク」を、京都滋賀地域で初めて、西日本の金融機関でも初めて取得しました。

今回竣工した研修センターと同規模の建物を建てた場合と比較すると、CO₂排出量は年間約55t削減(削減率22.4%)できます。

用語説明

CASBEE

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

省エネや省資源・リサイクル性能といった環境負荷削減の側面はもとより、室内の快適性や景観への配慮といった環境品質・性能の向上といった側面も含めた、建築物の環境性能を総合的に評価するシステム。

自然採光／スカイライトチューブ

6階の廊下に屋根面採光を5ヵ所設置。3階宿泊室と廊下には、ハイサイドライトを設置。また、すべての居室に十分な自然採光ができるように、効果的に窓を設置。

太陽光発電／ソーラー街路灯

4階デッキの両側に発電出力10kWの太陽光発電を設置。屋上に蓄電池を備えた太陽電池4.8kWを集中設置し、街路灯へ供給。

モニタリング(BEMS)

中央監視設備に建物管理支援機能を持たせ、エネルギー消費量の管理を行うとともに、設備のシステム効率の評価を実施。

高効率機器(ビル用マルチエアコン)

電気使用量を約30%削減することのできる空調機を採用。

壁面緑化

エントランス壁面にスナゴケの壁面緑化を採用。

超高効率アモルファス変圧器

エネルギー変換効率の高い変圧器を採用。

備品など

研修センターで使用する机、椅子、宿泊室の寝具、食堂の箸・食器などの備品は、リサイクル可能製品を積極的に採用。



守山市
なぎさ公園のひまわり



守山市
もりやま芦刈園



ペットボトルキャップのリサイクル 夏・冬のエコスタイルで電力使用量を削減



滋賀県内の企業が加盟する社会貢献組織「滋賀フィナンシャルピーネット(会長:高田紘一)」のペットボトルキャップリサイクル事業に参加しています。当行本店にてペットボトルキャップを回収し、滋賀県内の共同作業所に提供。回収したペットボトルキャップは、分別・洗浄作業をへて再生業者に販売され、その収益が共同作業所に還元されています。



夏季の軽装により、室内温度を本部・関連会社は28℃、営業店は26℃とし、電力使用量を削減して温室効果ガス排出量を削減しようと「しがぎんエコスタイル」キャンペーンを全店で展開しています。加えて、冬季は室内温度を本部・関連会社は20℃、営業店は22℃に設定し、省エネ活動に取り組んでいます。

地球環境との共存共栄

箱なしコピー用紙配達 「エコラボはーと・しが」で環境と福祉に貢献



「滋賀グリーン購入ネットワーク」が進める、箱なしコピー用紙配達事業「エコラボはーと・しが」に参加しています。これは、共同作業所のスタッフが、通常のダンボール箱の代わりに、何度も使用できるプラスチック製の通い箱を活用して、コピー用紙を参加企業へ配達する取り組みで、本部で使用するコピー用紙の一部を本事業より購入しています。



環境(不要な包装の削減)＋福祉(障がい者雇用促進)に貢献できる、滋賀オリジナルのCSR活動です。

TOPICS

「関西エコオフィス大賞」受賞(平成20年7月)

関西広域機構が主催する「平成19年度関西エコオフィス大賞」において、最高賞の大賞(大企業部門)を受賞しました。

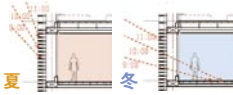


屋上緑化

宿泊室屋根部分は天然素材土壌を用いた省管理型のコウライシバを採用。

水平ルーバー

直射日光をカットしつつ間接光を導入(空調負荷の低減)、また外部からの視線をやわらかく受けとめるスクリーンとして、水平ルーバーを採用。



自然換気とペアガラス

すべての居室に開閉可能な窓を設置し十分な自然換気性能を確保。断熱性能の高いペアガラスを採用。

高効率照明器具(LED照明)

エントランスホール照明にLEDを採用。LED照明以外の照明器具も高効率のもので、センサーによる照明制御も採用。



節水機器(環境トイレ)

節水型、省水型機器などを採用。



エコキュート

従来の燃焼式給湯器よりも高い、省エネルギー効果が期待できるヒートポンプ式給湯システムの採用。

雨水利用

建物の地下に雨水貯留槽を設け屋上緑化散水に利用。

健康壁紙

宿泊室天井の仕上材に通気性・吸湿性の優れた、高機能けいそう土壁紙を採用。

木質加熱アスファルトリサイクルインターロッキングブロック

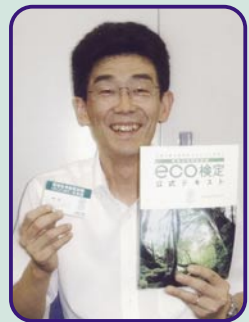
駐車場床舗装に再生材を使用した舗装材と、窯業廃土を利用したインターロッキングブロックを採用。



エコ検定合格者の声

虎姫支店 横田 英男

私がエコ検定を受検したのは、支店独自の取り組みとして「個人の環境マインドを高めよう、そのために希望者を募ってみなでエコ検定を受検しよう」との支店長の言葉がきっかけでした。受検会場には以前勤務していた支店のお客さまもおられ、改めてお客さまの環境保全に対する意識の高さを認識しました。



環境配慮店舗企画者の声

総務部 八太 誠樹

当行の環境ビジネス支援の中で実を結んできた取引先の技術も採用し、環境に配慮した店舗を企画しています。例えば、ATMコーナーの使用電力相当を賄う太陽光発電の導入や、雨水を植栽への散水として利用しています。しかし、ハード面の充実だけでなく、それを使用する従業員一人ひとりの環境への意識をより維持向上させることが、本来の環境配慮に繋がるものと考えています。



Q. お金の流れで地球環境を守る

～当行独自の環境対応型金融商品・サービス～

地球環境の保全を願って

私たちのCSR活動は

「環境対応型金融商品・サービスの開発、提供」が大きな柱です。

環境保全に取り組み始めるお客さまに、

「金融」の役割を通じてサポートをすることで、

琵琶湖をはじめとする地球環境の保全をとの願いを込めています。

地球温暖化や生物多様性保全の問題をはじめ、

企業に求められる役割は多様化していますが、

「環境金融」が持続可能な社会づくりに貢献できるとの使命を認識し、

「お金の流れで地球環境を守る」との気概で、

金融機関ならではのCSR活動を展開してまいります。

個



預金をしながら環境サポート
紙資源削減&「学校ビオトープ」
づくりのお手伝い(P12)



定期預金の金額に応じて
排出権を購入。
皆さまとともに
地球温暖化防止に貢献(P13)
<好評につき、取り扱い終了>

預金商品



SRIファンド
CSRに積極的に取り組む企業に投資(P17)

平成20年度 「地球温暖化防止活動環境大臣表彰」を受賞

環境対応型金融商品「カーボンオフセット定期預金『未来の種』」、「事業者向け環境配慮型融資『未来の芽』」による環境保全活動が、平成20年度「地球温暖化防止活動環境大臣表彰(対策技術導入・普及部門)」(主催:環境省)を受賞しました。

これは、地球温暖化防止への思いが込められたご預金を、温室効果ガス削減への取り組み等に融資するなど、さまざまな環境対応型金融商品・サービスを開発・提供し、地域の皆さまの環境保全活動を支援してきた功績が評価されたものです。

地球温暖化防止活動環境大臣表彰



定期預金の金額に応じて排出権を購入。
皆さまとともに地球温暖化防止に貢献(P13)
<好評につき、取り扱い終了>